

農薬について学ぼう①

農薬が使われた食べ物と病気

農薬はお米や野菜などを虫や菌、ウイルス、雑草などから守り、食べ物を安定的に生産するために使われています。でも、虫などをやっつけるのだから人の体にも悪いのでは、と心配する人も。でも、安心して。しっかり調べられています。



キッズ
ボックス

KIDS
BOX



農薬と病気との関係は調べられているの？

食品安全委員会は、専門家が一つ一つの農薬についてさまざまな試験の結果を確認して「ここまでなら人が一生涯、毎日食べても大丈夫な量」を決めているよ。



確認が必要な試験の内容

- ▶ DNA（細胞内にあり、生物が生きていくために必要な情報が詰まった生命の設計図）に傷をつけないか？
- ▶ 一度にたくさん食べたときに、どんな悪影響があるのか？
- ▶ 毎日食べ続けたときに、どんな悪影響があるのか？

・・・ほかにもいろいろ



過去のキッズボックス
「農薬についてその4」
も確認してくださいね。



「農薬についてその4」

農薬が残っている食べ物を食べて、がんなどの病気にならないように、法律に基づいて細かく調べられ、食べる人の安全が守られるルールも細かく決まっているよ。



ここも確認！

みんなが長生きするようになり、日本人の2人に1人ががんになる、とされています。がんの原因はたばこやお酒、塩辛い食品、運動不足、肥満、ウイルスへの感染、大気中の化学物質などさまざまある、と考えられています。現状では、一般に流通している食品を食べて、農薬が原因でがんなどの病気になることはほとんど考えられません。

キッズボックス「農薬について学ぼう」は計3回のシリーズ（2022年10月、2023年2月、3月予定）でお届けします。

農薬について「食べる人」の影響を調べているところは、次のうちどこかな？

①環境省 ②農林水産省 ③食品安全委員会

令和4年（2022年）10月

内閣府食品安全委員会

登録商標 © 2022



調べてみよう

キッズボックス

検索

<http://www.fsc.go.jp/kids-box/>